

# 令和5年度における大竹市財政の動向及び財政運営方針

## 1 財政の動向及び財政運営方針

### 《財政の動向》

大竹市を取り巻く諸情勢は、人口の減少、投資的事業に伴う市債残高の高止まりに加え、物価・燃料費高騰への対応などにより、厳しい局面にあります。

令和5年度は、景気の緩やかな持ち直しによる市税収入の増などにより、一般財源総額は増加するものと見込まれますが、人件費や光熱水費などの物件費、繰出金の増加などにより財源不足が生じる見込みです。経常経費の圧縮などを図りながら財政運営を行っていますが、それでもなお財政調整基金と減債基金を合わせて3億5,700万円を取り崩すという厳しい予算編成となりました。将来の負担を少しでも軽減するため、米空母艦載機部隊配備特別交付金をはじめとする財源を有効に活用し、市債の発行抑制に努めるとともに、特別会計を含めた市全体の市債残高の圧縮に取り組めます。

### 《財政運営方針》

第1期大竹市まちづくり基本計画では、「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」をまちづくりのテーマとして設定しています。未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けた施策を展開していきます。

#### 8つの幸せ

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ① 豊かな自然と共存できる幸せ | ② 活気とにぎわいにあふれる幸せ |
| ③ 笑顔と優しさに包まれる幸せ | ④ 子どもが健やかに育つ幸せ   |
| ⑤ 安全で快適に過ごせる幸せ  | ⑥ 生涯安心して暮らせる幸せ   |
| ⑦ 学び、成長できる幸せ    | ⑧ 大好きなまちで生きられる幸せ |

上記の8つの幸せの実現に向け、「分野別取組宣言」で示した個別施策に取り組むとともに、まちづくりの理念や基本目標を前提とした、①誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する、②結婚・出産・子育ての希望をかなえる、③地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する、という3つの基本目標を設定した大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた取組みを行い、将来的に「安定した財政運営」を目指し行財政改革に取り組んでいきます。